

## 産業建設委員会会議録

平成31年2月13日(水)  
氷見市庁舎委員会室  
開会 午前 9時59分  
休憩 午前11時49分  
再開 午後 0時59分  
閉会 午後 2時43分

- 1 案 件 平成31年度予算案のうち産業建設委員会の所管に係るもの
- 2 出席委員 5名  
松原委員長、上坊寺副委員長、北委員、萩山委員、谷口委員
- 3 委員外議員 荻野議長、積良副議長、穴倉議員、屋敷議員、稲積議員、越田議員、萬谷議員、  
正保議員、竹岸議員、澤田議員、嶋田議員
- 4 職務のため出席した事務局職員 坂本事務局長、横田主査
- 5 説明のため出席した者の職、氏名  
林市長、藤澤企画政策部長、高橋総務部長、茶木防災・危機管理監、山口産業振興部長、大野建設部長、川崎消防長、森田商工観光課長、野村農林畜産課長、串田水産振興課長、石田農業委員会事務局長、神代ふるさと整備課長、釣賀道路課長、浜本都市計画課長、鈴木花みどり推進室長、宮下上下水道課長、正保消防総務課長、竹内予防課長、横山消防署長  
そのほか関係職員
- 6 傍 聴 人 2人
- 7 経過及び結果
  - ・松原委員長が開会を宣告し、市長挨拶の後、議事を進行した。
  - ・平成31年度予算案について、当局より説明を受け了承した（主な質疑応答は別紙のとおり）。

氷見市議会委員会条例第27条第1項の規定によりここに署名する。

平成31年2月13日

氷見市議会産業建設委員長

松原博之

# 平成31年2月産業建設委員会調査日程表

平成31年2月13日(水) 午前10時

氷見市庁舎A棟2階委員会室

- ◎ 消防本部 10:01~  
・事業別明細書..... P 1 2 3
  
- ◎ 地域防災課 10:19~  
・事業別明細書..... P 9
  
- ◎ 商工観光課 10:33~  
・事業別明細書..... P 6 1
  
- ◎ 農林畜産課 11:22~  
・事業別明細書..... P 6 7
  
- ◎ 水産振興課 12:59~  
・事業別明細書..... P 7 1
  
- ◎ 農業委員会事務局 13:19~  
・事業別明細書..... P 1 2 2
  
- ◎ ふるさと整備課 13:22~  
・事業別明細書..... P 7 3
  
- ◎ 道路課 13:32~  
・事業別明細書..... P 7 7
  
- ◎ 都市計画課 13:46~  
・事業別明細書..... P 8 0

【裏面へ続く】

◎ 花みどり推進室 14:02~  
・事業別明細書.....P 8 3

◎ 上下水道課 14:21~  
・事業別明細書.....P 8 4

(注) 一般会計における人件費に係る説明は不要です。

## 主な質疑応答

消防本部 萩山委員	<b>19 消防出張所整備事業費</b> について。消防出張所の候補地が変更になった要因は。
川崎消防長	当初、予定していた市有地は国道からの消防車両の進入が危険であるため、安全に出動できる場所へ変更した。
萩山委員	本署のように信号での対応は不可能だったか。
川崎消防長	県警に相談したが視界が悪く設置は困難であるとのことだった。
萩山委員	他にも要因があるか。
川崎消防長	道路が狭いため積雪が多いと出動が困難になるのも要因の一つである。
萩山委員	変更した場所を民間から取得することによる事業費の増額はどれくらいか。
正保消防総務課長	これから調査、設計をして算出する。
萩山委員	具体的な事業費は把握できていないのか。
正保消防総務課長	現時点では把握できていない。
萩山委員	平成31年度予算の業務内容は。
正保消防総務課長	消防出張所の調査、設計を予算計上している。
萩山委員	事業費の財源は。
川崎消防長	国の緊急防災・減災事業債を活用する。そのためには、広域運営計画を提出する必要があることから高岡市との広域化を進めている。
萩山委員	高岡市との広域化が委託という形式でも緊急防災・減災事業債を活用できるか。
川崎消防長	該当する。
地域防災課 谷口委員	<b>2 防災対策事業費</b> について。防災無線の聞き取りにくい地区の対策は。

茶木防災・危機管理監	MCA無線の電波が微弱な地区については、IP無線の活用を検討している。
萩山委員	指定避難所の耐震化計画の内容は。
茶木防災・危機管理監	平成31年度は碁石公民館横の体育館の耐震診断・設計を実施する。耐震化については、指定避難所の収容人員により優先度を決めていきたいと考えている。
萩山委員	実施期間を圧縮した計画を早急に立てることはできないか。
茶木防災・危機管理監	早急に計画を立てるよう検討していく。
萩山委員	計画はいつまでに立てられるか。
茶木防災・危機管理監	期限は回答できないが、早急に対応していく。
林市長	指定避難所は8カ所あるが、公共施設の再編計画とも整合性を取りながら、平成31年度中に計画を立てるよう進めていく。
北委員	防災無線が聞き取りにくい地区は把握しているか。
小野課長補佐	MCA無線の通達域を超えた地域では一部聞き取りにくい地区があるため、IP化を進めていきたいと考えている。
北委員	どのようにIP化を進めていくのか。
茶木防災・危機管理監	MCA無線の電波が微弱な地区、市の南部を中心に進めていく。
商工観光課 上坊寺委員	<b>53 滞在型観光推進事業費</b> について。どのようにして氷見の特色を出していくのか。
森田課長	農山漁村を組み合わせた形で推進していきたい。
萩山委員	<b>32 まちなか活性化事業費</b> について。エリアマネージャーの具体的な役割は。
森田課長	まちなかのどのエリアにどういう店が合うかなどの戦略を練っていき地域経済の活性化を促す役割を担っていただく。公募により募集する。
萩山委員	エリアマネージャーの待遇は。

森田課長	エリアマネージャーは月78万5千円、ビジネスサポートセンターに常駐するビジネスアドバイザーは月100万円での雇用を考えている。
萩山委員	公募要件となるスペックはあるのか。
森田課長	先例市である静岡県富士市の産業支援センターのモデルを使い、富士市からもスタッフに来ていただき面接をする予定である。採用後に一、二カ月の研修期間を設けることを考えている。
萩山委員	選考委員会を設置する予定はあるか。
森田課長	選考委員会を設置する予定であるが、選考委員については未定である。
萩山委員	エリアマネージャーとビジネスアドバイザーは、市の中でどのような身分になるのか。
森田課長	市との直接の雇用関係はなく、新たに設立される協議会での雇用になる。
萩山委員	市の職員であったほうが対外的な交渉がしやすいように思えるが。
森田課長	協議会の職務に市の職員を従事させ、一緒に仕事をすることで配慮していきたい。
萩山委員	市の職員ではないという認識でよいか。
森田課長	そのとおりである。
萩山委員	<b>18 漁業交流施設整備事業費</b> について。VRなど新たな設備の概要は。
森田課長	漁業文化交流センター内に氷見の漁業文化を体感できるVR用の箱を設置する予定である。施設内のどこに設置するかはプロポーザルの中で決定していく。
萩山委員	氷見まちなかランドデザインから、どのような修正がされたのか。
森田課長	他の施設で整備するものは省いて、漁業文化の発信に特化した整備をしていきたいと考えている。
萩山委員	氷見まちなかランドデザインの中で漁業文化交流センターだけ修正を行った説明はされているのか。

森田課長	VR用に設置する箱は施設の一部を使用したもので、氷見まちなかグランドデザインとの整合性は損なわれていないと認識している。
萩山委員	氷見まちなかグランドデザインをもとにした整備事業費を今年度予算に計上してあるにもかかわらず、今回の変更に至った手続きはされているのか。
森田課長	変更の手続きはしていない。
林市長	氷見まちなかグランドデザインの大筋を変更するものではなく、概ねイメージに沿った使い方をしていく。
谷口委員	<b>50 観光広報強化事業費及び 53 滞在型観光推進事業費</b> について。観光広報強化事業費を滞在型観光推進事業費に統合することで宣伝効果が弱まるのではないかと。観光の目玉である温泉民宿をアピールしたほうが良いのでは。
森田課長	滞在型観光事業は、事業費の2分の1を地方創生交付金で賄うことができることから滞在型観光推進事業費に統合したが、事業の中に観光広報強化事業も含まれている。長期の滞在型観光を氷見の観光全体の掘り起こしにつなげていきたいと考えている。
谷口委員	温泉民宿をアピールする考えはあるか。
森田課長	温泉を生かした観光を観光協会とも連携して行っていきたい。
北委員	<b>14 田園空間博物館管理運営事業費</b> について。獅子舞ミュージアムの利用状況は。
森田課長	利用者が少ない状況にあり、実演会が年1回しか行われないうことも影響している。
萩山委員	<b>5 浅野総一郎翁ゆかりの都市等交流推進事業費</b> について。浅野総一郎翁を紹介する帰望郷館の今後の展望は。
森田課長	氷見まちなかグランドデザインの中で市民会館跡地に建設予定の「ひみ発見館」において浅野総一郎翁を紹介していきたいと考えている。
萩山委員	「ひみ発見館」ができるまでの対応は考えているか。
森田課長	現時点では、考えていない。

萩山委員	暫定的に漁業文化交流センターに設置する考えはないのか。
森田課長	漁業文化交流センターが適当かは即答できない。
農林畜産課 上坊寺委員	10 鳥獣被害防止対策事業費について。黒部市では年間300頭のイノシシを処理する加工施設を建設予定であるが、本市では年間、約2,200頭を捕獲しており処理加工施設の必要性があると思うが。
野村課長	処理加工施設については、運営等も含め調査を行い必要性について検討していく。
上坊寺委員	市民からイノシシ肉を販売するための保管用の冷蔵施設が欲しいとの意見があるが。
野村課長	イノシシ肉を販売するには法的規制があるため、それらの問題を解決する必要がある。
上坊寺委員	羽咋市では道の駅で販売している例もあることから、本市でも取り組むことはできないか。
野村課長	可能であるか、検討していく。
林市長	羽咋市では、ソーセージ等に加工して道の駅で販売していることは承知している。今後、名城大学との連携の中で活用を検討していきたいと考えている。
萩山委員	イノシシを解体できる保冷車を活用することは検討できないか。
野村課長	どのような方法で活用できるかを含めて検討していきたい。
北委員	34 地籍調査事業費について。地籍調査は何%完了しているか。
野村課長	平成29年度末で45%完了しており、県内では5番目の進捗率である。
北委員	今後も継続していくのか。
野村課長	継続していきたいと考えている。
北委員	平成31年度予算額が前年度に比べ減額した理由は何か。



野村課長	上余川地区の調査が今年度で完了したことによる減額である。平成31年度中に新たな10カ年計画を策定する予定である。
北委員	17 中山間地域等直接支払事業費について。加入していない地区の対応は。
野村課長	加入していない地区は、各々の事情があると考えられるが、隣接する地区との連携による加入等を提案していきたい。
水産振興課	
萩山委員	10 浜の活性化推進事業費について。シンポジウムを通じて、どのように水産業の活性化につなげていくか。
串田課長	資源管理型など全国的な漁法の導入のきっかけづくりをしたいと考えている。
萩山委員	シンポジウムの中でユビキタス魚群探知機等の技術的革新を提案する試みはないか。
串田課長	定置網に関する技術的革新もテーマの一つとして考えていきたい。
谷口委員	6 海の種づくり推進事業費について。姿にある県の栽培漁業センターの活用についての要望に対する県の回答は。
林市長	県は、滑川市にある水産研究所で行っているアカムツやキジハタの栽培が軌道に乗れば、本市の栽培漁業センターでの活用を考えたいとの回答であった。また、老朽化が進んでいる施設の改修も合わせて要望している。
都市計画課	
萩山委員	17 都市公園整備事業費について。氷見運動公園の今後の整備計画は。
浜本課長	平成31年度は野球場の内外野のフェンスを整備し、その後、管理棟を整備したいと考えている。
萩山委員	軟弱地盤の対策は考えているか。
浜本課長	今年度、ボーリング調査を実施しており、フェンスの設置に関しては沈下を抑える工法を採用していきたいと考えている。
萩山委員	調査の結果を見て、軟弱地盤に対処する工事の予算を計上するのか。
浜本課長	調査の報告を受け、沈下を抑える工法を採用した工事に着手していきたいと考えている

萩山委員	沈下を抑える工法は、施設を建設する場所だけに採用するのか。
浜本課長	施設を建設する場所だけに採用する。
松原委員	グラウンド全体の対策は考えているか。
大野建設部長	全体では莫大な費用がかかることから、個々の施設を整備するに当たって、対策を検討しながら長寿命化を図っていききたい。
上坊寺委員	軽スポーツ広場に整備するバックネット等は今後も使えるか。
浜本課長	外野のフェンスは仮設のため野球場が完成した後は撤去するが、バックネットやマウンドは今後も使えるようにしていく。
花みどり推進室	
萩山委員	<b>7 海浜植物園リニューアル整備事業費</b> について。リニューアルに伴い名称等を変更するのか。
鈴木室長	今後、利用の仕方に応じて検討していききたい。
萩山委員	設置条例を整備する予定はあるか。
鈴木室長	平成33年4月のリニューアルオープンまでに条例の改定等を踏まえて考えていききたい。
萩山委員	リニューアル後の年間のランニングコストは想定しているか。
鈴木室長	ランニングコストは今後、検討していく必要がある。
萩山委員	新たに設置する予定の子どもが遊ぶ施設にかかる費用は。
鈴木室長	5億2,400万円を見込んでおり交付金を充当する。
萩山委員	その中で子ども用の遊具にかかる費用は。
鈴木室長	遊具は7千万円程度かかる見込みである。
谷口委員	施設を教育の場として提供してはどうか。
鈴木室長	現在、氷見高校による園芸教室や夏休みのとんぼ教室等で利用していただいているほか、保育園や子育てサークルで小さいお子さんにも利用していただいている。

<p>上下水道課 萩山委員</p>	<p>1 水道事業収益について。有収率はどのように推移しているか。</p>
<p>宮下課長</p>	<p>今年度予算では82.0パーセントを見込んでいたが、平成31年度予算では84.3パーセントを見込んでいる。</p>
<p>萩山委員</p>	<p>水道事業の料金回収率は、全国平均で105.59パーセントと聞いているが、平成31年度は何パーセントで設定しているか。</p>
<p>宮下課長</p>	<p>現在は、110パーセント程度であるが、平成31年度は100パーセント程を見込んでいる。</p>